

「日本仏教文化大革命」の発刊によせて

この度、我が寺院改革の軌跡として三百頁からなる書籍を刊行させていただきます。私なりの血と汗と涙の結晶とも言えるものです。随所で赤裸々に自らの思うところをしたためてきました。私の信念と決意と実践の書です。奇しくも石川県能登大地震と軌を一にすることになりましたがこの書が及ばずながらも今後の寺院の復活に向けたメッセージになれば幸いです。私なりの渾身の著作という自負はあります。日々、悪戦苦闘をしながらも決して怯(ひる)むことなく戦ってきた大修行の成果です。宗派も旧檀信徒も地域も親族も友人知人も敵に回しての四面楚歌での挑戦でした。身を斬る思いで内堀、そして外堀と埋めていき市井で大勝負に出ました。それにより世間からは絶賛をしていただきました。特にメディア関係者の方達には後ろ盾になって応援していただきました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。メディアに取り上げてもらわなかったら今頃はもしかしたら押し潰されていたかもしれませぬ。身を粉にして働き地位や名誉や財産にうつつを抜かすことなく果敢に取り組んで参りました。利益を追ったり目先の損得で動くこともなく自己犠牲を払ってやってきたことは事実です。これが今の私の財産であり勲章です。何者にも代え難いものです。世間の名声など何の興味もありません。宗派における地位や名誉などにも何の魅力も感じませぬ。あるのは我が道を生きてきた誇りのみです。その思いは行間から読み取っていただけるものと信じます。諸所に逆(ほとぼし)る思いを感じてもらえるのではないかと思います。これでHP、X(旧ツイッター)、YouTubeと並んで発信できるものがまた一つできましことを嬉しく思っております。今年も矢継ぎ早に事業を推進していく所存でございますので今後ともご指導ご鞭撻のほど伏してお願い申し上げます。合掌

令和6年1月6日
見性院住職 橋本英樹